



学会所蔵の図書・雑誌の利用について

日本オペレーションズ・リサーチ学会では、設立以来、内外の諸学会、諸機関と出版物の交換を行ない、研究交流に努めてきましたが、今年度から、広く会員の皆様に図書・雑誌をご利用いただけるよう、準備をいたしました。別項のような図書利用規則をご理解の上、蔵書をご活用いただくよう、お願いいたします。

日本オペレーションズ・リサーチ学会 図書利用規則

第1条 日本オペレーションズ・リサーチ学会（以下 学会と称する）における図書・雑誌、その他の資料（以下 図書と称する）の閲覧、貸出し、複写等の利用は、この規則の定めるところによる。

第2条 図書を利用できる者は、学会の会員に限る。

第3条 図書の利用は、原則として、所定の申込用紙により、申込みのものとし、利用時間は事務局の執務時間内とする。

第4条 次の図書は貸出しの範囲から除外する。

- (1) 貴重図書
- (2) 逐次刊行物
- (3) その他、刊行物委員会の指定するもの

第5条 (1) 同時に貸し出すことのできる図書は、未返却分を含めて、3冊以内とし、貸出期間は15日以内とする。

(2) 貸出期間の延長は、1回限りとする。延長手続きは、その図書を持参するか、または、文書により、次の事項を返却日までに、学会宛に連絡しなければならない。

利用者の住所・氏名・著者名・書名・返却日・次回返却予定日

(3) 前2項の規定にかかわらず、刊行物委員会は、貸出数の増減、貸出期間の短縮、延長、また貸出期間内においても、返却を求めることができる。

第6条 図書の貸出しを受けた者は、その図書の保

管の責任を負う。図書を紛失、破損した者は、刊行物委員会の指定するところにより、指定の図書を代納するか、または、相当の代価を弁償せねばならない。

第7条 (1) 図書の複写は、個人的な使用のためにのみ行なうものとする。

(2) 複写の実施および複写物の使用に生ずる著作権問題は、すべて利用者においてその責任を負うものとする。

(3) 複写にかかわる費用は、利用者の負担とする。

第8条 図書の閲覧、貸出し、複写等の業務の運営は、事務局において、これを代行することができる。

(1971. 1. 22 刊行物委員会制定)

会 合 (46年10月～11月) (かつこ内は出席者数)

理事会 46.11.11 (20) 議題 1. 秋季研究発表会の件 2. 法人化寄付金募集状況の件 3. 法人設立趣意書の件 4. 定款、細則の件 5. 法人設立スケジュールの件 6. 解散の件 7. 事務所移転の件 8. 第6回 IFORS 提出論文の件 9. 第6回 IFORS 参加の件 10. IFORS 組織委員会の設置の件 11. 日米コンピューター会議の協賛依頼の件 12. 『経営科学』の表紙の件 13. 学会誌の販売の件 14. 会員増強委員会報告 15. PPBS セミナーの件 16. 月例講演会の講師謝礼の件 17. 上半期決算と下期予想の件 18. 石川賞推薦結果の件 19. 入退会の件 20. 研究助成金の件 21. 既往3年間の決算の件 22. 広告委員長の交替の件 23. その他

刊行物委員会 46.10.1 (8); 46.11.26 (7)

IFORS 委員会 46.10.6 (11)

組織検討委員会 46.10.6 (5); 46.10.22 (6);
46.11.22 (5)

IAOR 委員会 46.10.21 (2); 46.11.24 (2)

法人化委員会 46.10.14 (7); 46.10.25 (3)

広告委員会 46.11.8 (4)

会員増強委員会 46.11.10 (3)

OR金曜サロン 46.10.8 第23回 “電力の OR”

(14); 46.11.5 第24回“スケジュールリング”
(9)

庶務幹事会 46.10.19 (7); 46.11.9 (6)
刊行物幹事会 46.10.21 (8); 46.11.19 (8)
研究普及幹事会 46.10.26 (7); 46.11.24 (7)
会計幹事会 46.11.22 (5)

入退会 1 (46年9月16日より11月10日まで・11
月11日 第3回理事会にて承認)

入 会

[通常会員]

加藤 隆 (日立製作所)・矢島敬二 (日本科学技
術研究所)・内藤義輝 (日本電気)・木下猛三 (宇部
興産)・川村昌雄 (川崎製鉄)・村上 清 (宇部興
産)・石栗八郎 (保谷硝子)・辻井圭介 (エッソスタ
ンダード石油)・富沢健一 (日本ビジネスオートメ
ーション)・河崎俊二 (神戸商大)・春田尚憲 (経済
企画庁)・天笠美知夫 (東京理科大)・井上 洋 (東
京理科大)・木村文則 (日本道路公団)・田村泰弘
(日本道路公団)・高見沢庄平 (宇部興産)・林 勝
広 (防衛庁)・市川淳信 (東工大)・佐藤洋司 (愛三
工業)・高橋行雄 (日本ロシュリサーチセンター)・
下田長雄 (山口銀行)・鈴木誠道 (鉄道技研)・平井
滋二 (四国電力)・Spyros G. Makridakis (フラン
ス)・Haushang Sabeti (イラン) (以上 25 名)
[学生会員]

宮沢信一郎 (東洋大)・宮長文夫 (早大)・墨宇一
良 (成蹊大)・飯島 守 (京大)・石井博昭 (京大)
・土屋由隆 (慶大) (以上 6 名)

退 会

[通常会員]

益尾 拓・加藤博明 (以上 2 名)

[賛助会員]

(株)本田技術研究所 (以上 1 社)

入退会 2 (46年11月11日より12月10日まで・12
月11日 第4回理事会にて承認)

入 会

[通常会員]

橘 弘 (製鉄化学工業)・志水清孝 (慶応義塾大)
・上野晴樹 (青山学院大)・岡田 耕 (建設技術研)
・田畑勝敏 (日本電気)・平井由土 (本州大学)・佐
藤 一 (日本電気)・青木保彦 (日本電気)・小林一
之 (日本電気)・今村一郎 (東北電力) (以上 10 名)

[学生会員]

山本 栄 (慶大) (以上 1 名)

[賛助会員]

日本アイ・ビー・エム(株)サイエンティフィック
センター (以上 1 社)

退 会

[賛助会員]

中部産業連盟 (以上 1 社)

**全世界の OR に関する文献の Abstracts 専門誌
IAOR を活用しましょう**

IAOR (International Abstracts in Operations Research) は、IFORS (International Federation of Operational Research Societies) が発行している、世界の OR 関係の論文および単行本の英文アブストラクト集です。隔月ごとに発行され、昨年は約 1,100 編のアブストラクトが収録されました。

内容は、大きく分けてモデル、実施例、理論の三つの部門に分かれていて、その中がさらに細かく専門別に分類されています。各号のはじめに、論文の題名および使用言語が記されているほか、著者および項目による索引もあって、文献を探す上で非常に便利にできています。

学会を通して購入しますと割安 (約 5 分の 1) です。定期購読をおすすめいたします。

価格 (年 6 冊) 1,200 円

申込用紙は学会にあります。

申込先 日本オペレーションズ・リサーチ学会

〒113 東京都文京区弥生 2-4-16 学会センタービル TEL 03 (815) 3351

なお、バックナンバーも Vol. 1, 1961 から全巻あります。 (IAOR 委員会)